



特別功労賞賞状

NASAから特別功労賞を受賞

このたびアメリカ航空宇宙局(NASA)から、当社が開発したイオン観測装置DIS(Dual Ion Sensor)に対し、特別功労賞が授与されました。

本装置は、当社と米国NASAゴダード宇宙センター(GSFC)、米国サウスウエスト研究所(SwRI)、JAXA宇宙科学研究所が連携し、2008年より開発を行ってきました。

2015年3月、ケープカナベラル空軍基地から打ち上げられた地球磁気圏を観測する衛星MMS(Magnetospheric Multi Scale)に本装置が16台搭載され順調に稼動し、高品質なデータ観測を続けています。

MMSは磁気圏プラズマ観測において、はじめて時間分解能・空間分解能の両面で電子の運動論物理の観測を可能にした衛星であり、明星電気はこの分野の研究発展に向けて、今後も貢献していきます。

(担当:宇宙防衛事業部)



取材の様子

高知の地域情報番組でPOTEKAが紹介

6月8日、高知放送の人気情報番組「こうちeye+(プラス)スーパー」で当社の超高密度気象観測・情報提供サービスPOTEKAが紹介されました。

この番組は「高知を元気にする情報」をモットーに平日の夕方放映されており、当地のPOTEKA販売店である高知消防システム株式会社様が取材を受け、ゲリラ豪雨や浸水対策などの備えとしてPOTEKAを取り上げていただきました。

年間降水量が多い高知県では豪雨や土砂災害への懸念が強く、また南海トラフを震源とする巨大地震の到来も想定されており、防災に対する意識が近年高まっています。

今後も豪雨や風水害に対する注意喚起など、防災減災に貢献できるようPOTEKAのサービス拡充を図っていきます。

(担当:中四国支店)



名古屋市科学館

夏休みの各地企画展に出展協力

7月16日より、名古屋市科学館で開催されている南極観測60周年記念特別展「南極へ行こう!」に、明星電気よりラジオゾンデRS-11Gを出展提供しています。当社は日本の南極観測の歴史において、ゾンデ供給をはじめ過去には観測隊員を派遣するなど、現在に至るまで深い関わりを持っています。この特別展では、南極の厳しい自然環境や観測の歴史、隊員の生活の様子なども詳しく紹介されており、またブリザードを体験できるコーナーも設置されています。

また、群馬県館林市の向井千秋記念子ども科学館で開催されている企画展「館林はなぜ暑い?」には、気象測器工業会の協力によるアメダスが展示されており、当社も工業会を通じて構成部品である信号変換装置を提供しています。この企画展では「暑さ」の原因や豪雨や竜巻など関連する自然災害を紹介し、館林の気象環境の特徴について考えることをテーマとしています。

明星電気は気象観測への理解を深める催しに対して、広く関係各所に協力していきます。

(担当:気象・管制事業部)



向井千秋記念子ども科学館

Sensing & Communication

私たちは、独自の Sensing & Communication 技術により革新的な商品・サービスを創造し

安全・安心な社会の発展に貢献していきます。